

プロポにたくさん付いているスイッチやボリュームの一つを APM 専用のモードスイッチに交換します。  
APM のモード 1～6 をロータリースイッチでわかりやすく確実に切替えます。

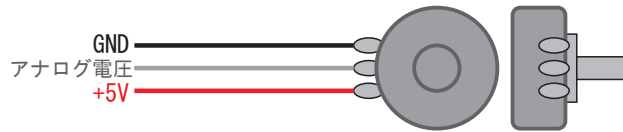
使用しないボリュームを切替スイッチに変更するのが一般的ですが、ほとんどのプロポはスイッチもアナログ電圧として扱っています。スイッチ信号に本器のアナログ電圧を加えてもモード切替が出来るものがほとんどです。

受信機の Ch5 に設定できるボリュームかスイッチを選びます。  
APM のモード切替は Ch5 の入力でおこないます。

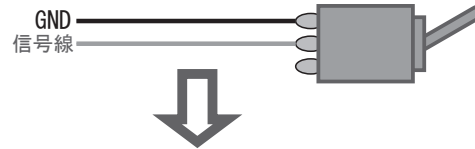
プロポの改造が難しい方向けに改造サービスを行っております。下記要領でお送りください。費用は改造無いようによって変わりますのであらかじめ、メールでお問い合わせください。お送りいただくもの

- 1, プロポ送信機とその電池またはバッテリー
- 2, 上記用受信機
- 3, モードスイッチの取り付け場所  
(受信機 Ch5 に変更しておいてください)

なお、改造したものはメーカーの保証が受けられなくなる可能性があります。ご了承ください。



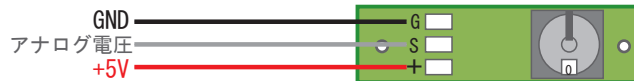
ボリュームは +5V と GND が配線されています。テスター等で +5V を確認して配線します。



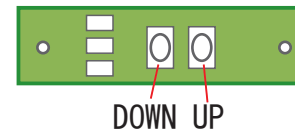
スイッチは信号線と GND が配線されていることが多いです。  
+5V はどこかから持ってきます。  
(近くのボリュームに +5V はあります)



MODE-2P 丸穴スイッチ



MODE-2S 角スイッチ



裏面の UP/DOWN スイッチで 1～6 の PWM 値を調整できます。  
受信機から出力される PWM 値を APM プランナー等で見て調整します。  
プロポの送信機、受信機 によって値は変わりますきちんと調整してください。

APM のモード設定値 (Ch5)

MODE	PWM 値	動作モード (推奨)
1	1100	Stabilize
2	1300	Alt Hold
3	1400	Loiter
4	1550	Loiter SuperSimple
5	1680	Auto
6	1900	RTL

APM モードスイッチ MODE-2

Ver 1.0 Printed by JDC